



ラベルの一致

この章は、次の内容で構成されています。

- [ラベルの一致 \(1 ページ\)](#)

ラベルの一致

ラベル マッチングは、どのコンシューマおよびプロバイダーの EPG を通信可能にするかを決定するために使用されます。コントラクトの特定のプロデューサーまたはコンシューマのコントラクトサブジェクトは、コンシューマおよびプロバイダーが通信可能となることを決定します。

一致タイプのアルゴリズムは、次のいずれかの値を持つ `matchT` 属性によって決定されます。

- すべて
- `AtLeastOne` (デフォルト)
- [なし (None)]
- `AtmostOne`

EPG とコントラクトの情報カテゴリの両方のラベルが存在する場合、ラベル マッチングは最初に EPG に対して実行され、次にコントラクト情報カテゴリに対して実行されます。

プロバイダーラベル `vzProvLbl` とコンシューマラベル `vzConsLbl` の一致を確認する場合、`matchT` はプロバイダー EPG によって決定されます。

情報カテゴリを含む EPG 内でプロバイダーまたはコンシューマの情報カテゴリ ラベル `vzProvSubjLbl` および `vzConsSubjLbl` の一致を確認する場合、`matchT` は情報カテゴリによって決定されます。

同じ `matchT` ロジックは、EPG とコントラクトの情報カテゴリ ラベルでも同じです。次の表は、すべての EPG とコントラクトの情報カテゴリ プロバイダーおよびコンシューマの一致タイプとその結果の簡単な例を示します。この表で、[] エントリはラベルがないことを示します (NULL) 。

matchT	vzProvLbl vzProvSubLbl	vzConsLbl vzConsSubLbl	結果は
すべて	[]	[]	一致
すべて	LabelX、LabelY	LabelX、LabelY	一致
すべて	LabelX、LabelY	LabelX、LabelZ	No Match
すべて	LabelX、LabelY	LabelX	No Match
すべて	LabelX	LabelX、LabelY	一致
すべて	[]	LabelX	No Match
すべて	LabelX	[]	No Match
AtLeastOne	LabelX、LabelY	LabelX	一致
AtLeastOne	LabelX、LabelY	LabelZ	No Match
AtLeastOne	LabelX	[]	No Match
AtLeastOne	[]	LabelX	No Match
AtLeastOne	[]	[]	一致
[なし (None)]	LabelX	LabelY	一致
[なし (None)]	LabelX	LabelX	No Match
[なし (None)]	LabelX、LabelY	LabelY	No Match
[なし (None)]	LabelX	LabelX、LabelY	No Match
[なし (None)]	[]	LabelX	No Match
[なし (None)]	LabelX	[]	一致
[なし (None)]	[]	[]	一致
AtmostOne	LabelX	LabelX	一致
AtmostOne	LabelX、LabelY	LabelX、LabelY	No Match
AtmostOne	LabelX、LabelZ	LabelX、LabelY	一致
AtmostOne	LabelX	LabelY	No Match
AtmostOne	[]	LabelX	No Match
AtmostOne	LabelX	[]	No Match
AtmostOne	[]	[]	一致

翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。